

在宅医療先進地域情報フェスタ2014

「面の連携から立体の連携へ  
～楽しくなければ、参加なし～」

金沢赤十字病院  
石川県医師会理事  
西村元一

2015.3.1

# 金沢赤十字病院 いしかわ921在宅ネットワーク

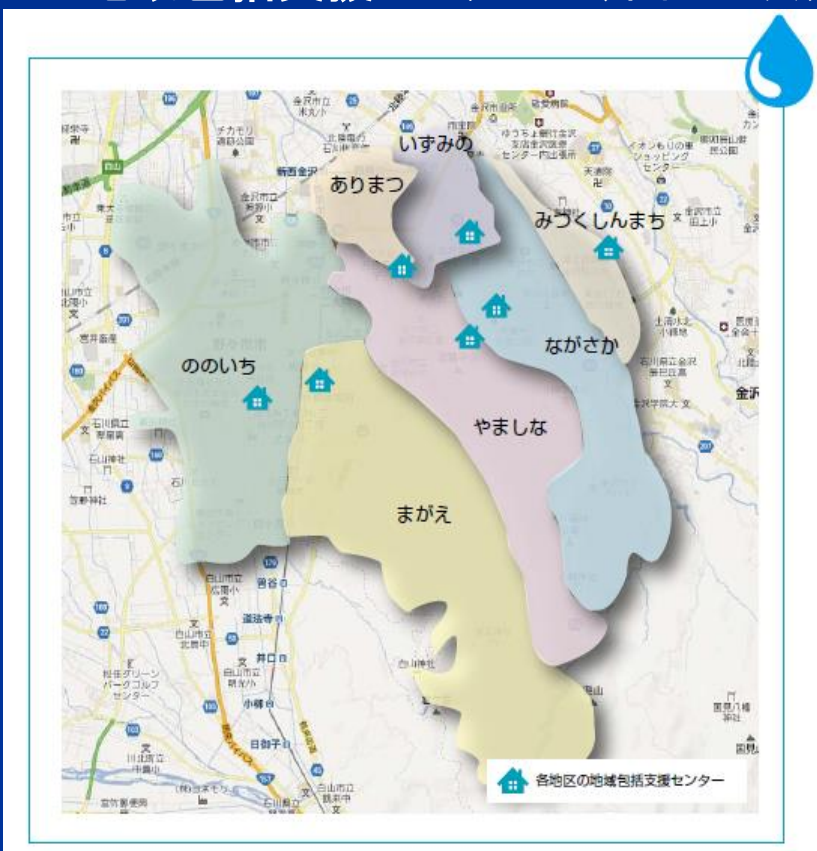
地域で療養すること ～病んでも老いても住み慣れた地域で生活するために～

対象地域 干921で始まる地域 → 石川県金沢市南部と、野々市市

人口 金沢市南部 123,839人 野々市市 49,562人 合計 173,401人

高齢化率 20.7%

地域包括支援センターは、図の7ヶ所



## 地域の特徴

診療所(うち在宅療養支援診療所)	82(28)
病院(うち在宅療養支援病院)	15(5)
訪問看護ステーション	16

医療、介護、福祉の関連施設数 **547!**



医療介護の関係機関が多く、情報が集約されていない

☆事業開始の2012年7月～2013年1月末までに介護関連施設を中心に**14ヶ所**増えた



いしかわ921在宅ネットワーク

# 在宅医療推進のパターン

## 自動型

- 自分たちの事業をもとに拡大する

## 仕切り型

- 公の立場からしくみを作る

## コーディネーター型

- 地域のコーディネーター役

情報集約及び情報提供のハブ  
多職種連携を促進する拠点  
急性期病院としての関わり方のknow how





# いしかわ921在宅ネットワーク 拠点活動の方向性



多職種連携の活性化

拠点から面への活動展開

地域住民への在宅医療の普及啓発







# 多職種連携の活性化

## 1) 研修会

研修会回数	グループワークを伴う多職種連携研修会 <b>12</b> 回 講義形式の専門研修会 <b>6</b> 回 非医療職対象の勉強会 <b>4</b> 回
参加人数	22 回の延べ参加者 <b>1050</b> 名
参加平均人数	<b>47.7</b> 人
ニーズ充足度	関心のあるテーマであったかは、 <b>4.8</b> / <b>5.0</b> 点
満足度	仕事に役立つかは、 <b>4.4</b> / <b>5.0</b> 点
目標達成度	シラバスの目標を達成できたかは、 <b>4.4</b> / <b>5.0</b> 点
新たな顔見知り	多職種連携研修会では、 <b>4.3</b> 人と新たに顔見知りになった
研修参加施設	全施設 <b>547</b> のうち、 <b>211</b> 施設から参加があった



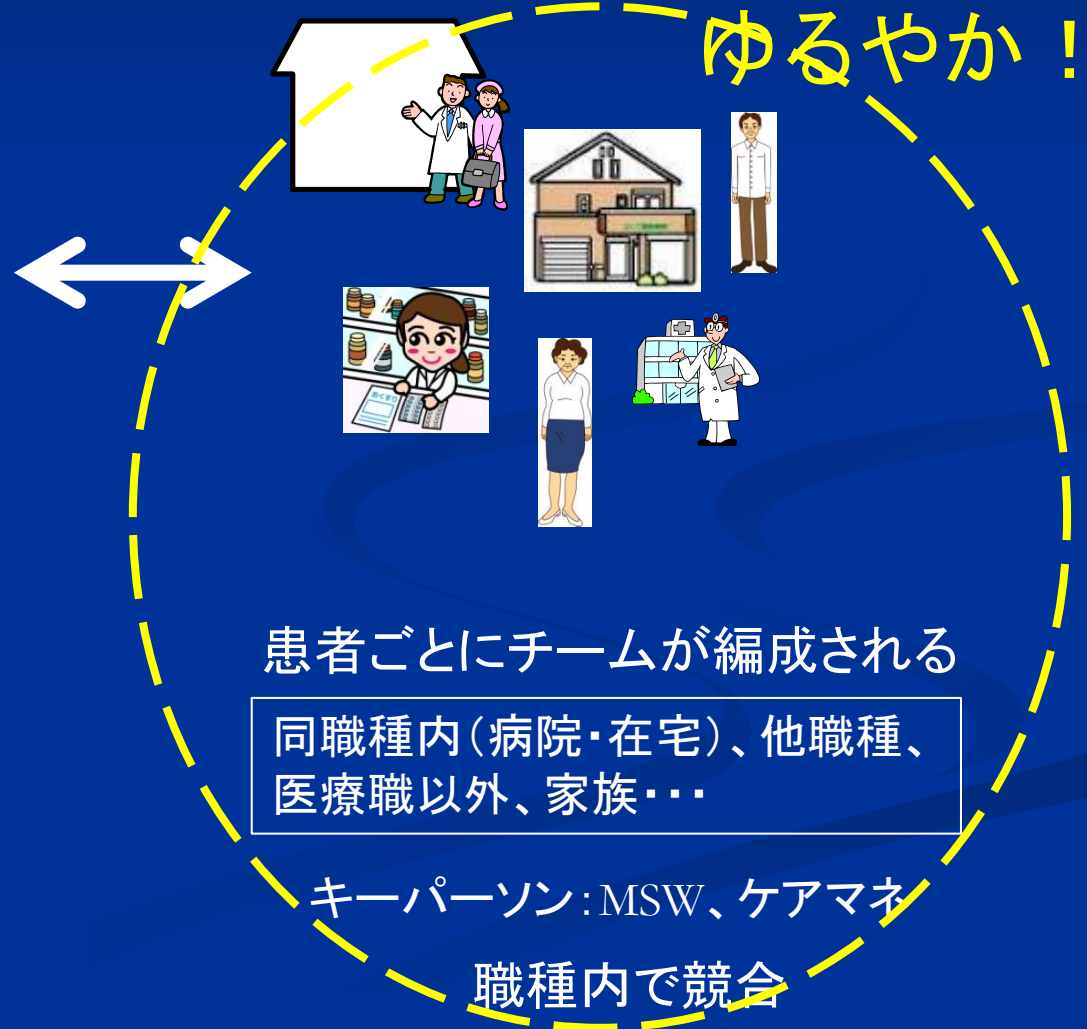
# コミュニケーション

病院内



チームの中に患者が存在

在宅



# 拠点事業を行ってみて (医療と介護の連携に関して)

- 一部の職種を除き、病院職員は介護との関わりが希薄
- 同職種間でも病院関係者と在宅医療関係者ではハードルがある場合がある
- 連携には医療者と介護・福祉関係者とのコミュニケーション(顔の見える関係)が重要
- 病病・病診連携は組織(部署)との連携でよいが、医療と介護の連携には**人と人との連携**が必須である
- 今後の地域包括ケアには後方支援の病院が重要であり、そのためにも急性期病院においては**医療と介護の連携**に関して**コーディネーター的な部署**が必要である

重要なのはシステムではなく、  
“人”であり“人”の繋がり

“人”と“人”がどう繋がるか！  
そのつながりで、どう人を繋げるか？

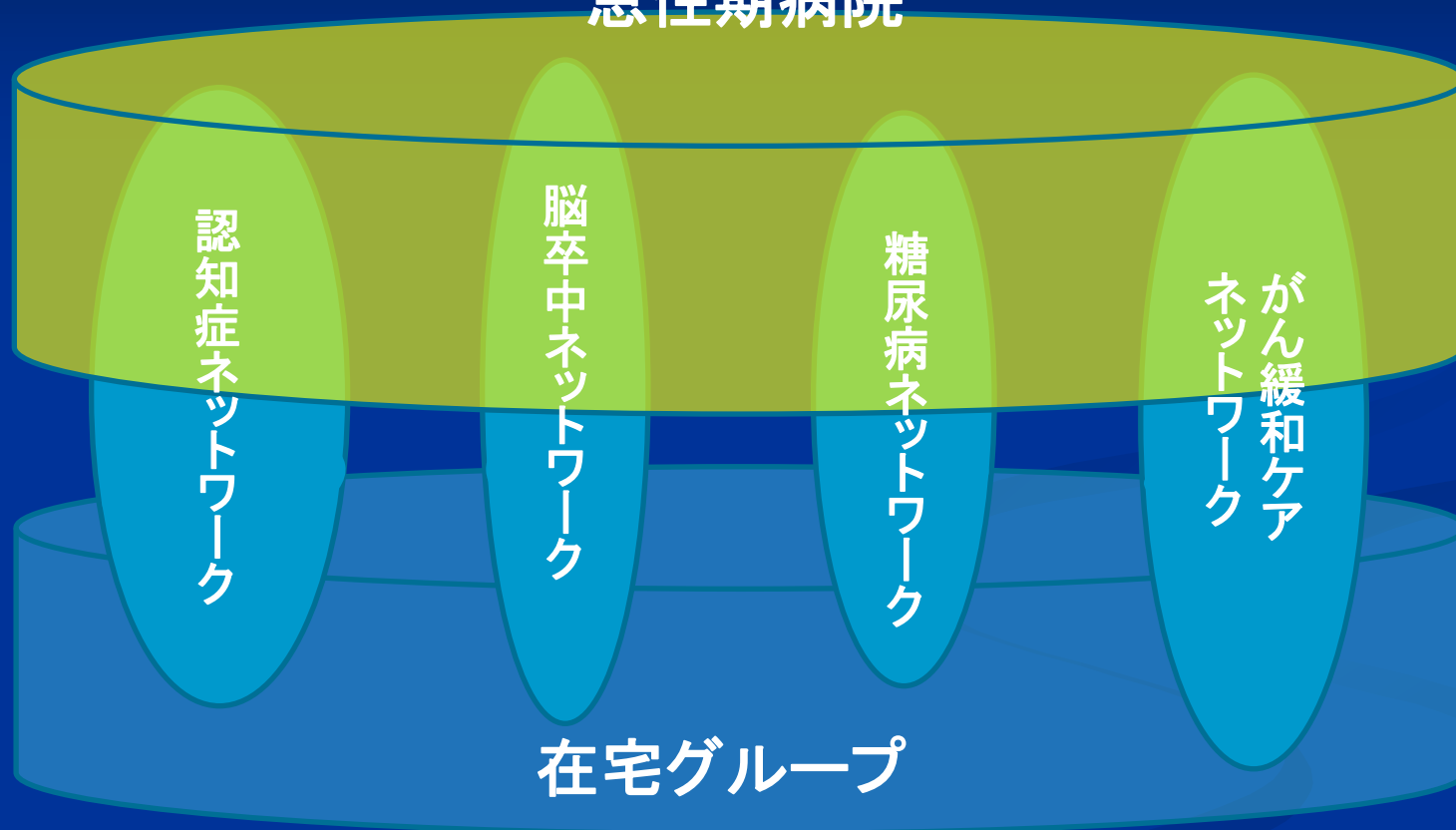


# 急性期病院が関わっているからこそできること！

- 疾患ごとの勉強会（地勉の会）
- 地域連携パスなど疾患ごとのネットワークとのコラボレーション
- 急性期病院から在宅療養に多職種が関わった事例報告会の開催
- 退院支援への関わり
- 専門職同士の顔の見える関係づくり

# 横と縦のネットワークの融合

急性期病院



# 加賀脳卒中地域連携協議会とのコラボ研修会

(日 時) 平成25年8月7日(水)19:00～21:00

(場 所) 野々市役所情報交流館カメリア

(テーマ) 脳卒中 連携パスを読み解こう

- ・池永康規先生による講義(20分) **こんなに役立つ脳卒中連携パス!**
- ・グループワーク(60分)

ーケアマネジャーと、回復期リハ病床職員の混合グループで、  
実際のパスを用いたワーク



**急性期病院・回復期リハ病棟と在宅でニーズは全く異なることを理解**



# 加賀脳卒中連携協議会といしかわ921在宅ネットワークとの合同会議



# いしかわ921研究会

第1回H25年11月11日  
事例は脳卒中パスを使った連携  
急性期、回復期、生活期で  
10人の演者が登場

第2回H26年2月10日  
病院の退院支援委員会と共催  
「地域と行う退院支援」  
病院の看護師、SW、  
在宅の医師、看護師、ケアマネジャー



## 第3回いしかわ921研究会

いしかわ921在宅ネットワークでは、多職種連携がうまくいった事例や、地域の新しい取り組みなどを、昨年度から「いしかわ921研究会」で発信しております。

3回目の事例報告は、「施設での看取りケア」です。ここ数年、有料老人ホームや、サービス付高齢者住宅など、いわゆる居住系の施設で、看取りケアに取り組まれる施設が増えました。

看取りケアには在宅医療が不可欠です。居住系の施設でどのような在宅医療連携が行われているのかを中心に報告していただきます。

日時 平成26年5月12日(月) 19:00~20:30

会場 金沢赤十字病院5階講義室

### プログラム

ミニレクチャー 「居住系施設の概要」

講師 田中大悟氏(上小松クリニック)

有料老人ホーム、サ高住、グループホームの概要と、機能の違いを分かりやすく説明していただきます

事例報告 司会 福島雅司先生(福島医院)

施設での看取りケア ～その人らしい最期を支える～

報告 病院のソーシャルワーカー 河原久美子氏(金沢赤十字病院)

ケアマネジャー 高神かすみ氏(富樫苑)

訪問診療医 大和太郎先生(やまと@ホームクリニック)

施設看護師 小坂友美氏(有料老人ホームひなの家)

介護福祉士 平谷聡子氏(訪問介護もものはな)

薬剤師 庄瀬民湖氏(てまり薬局)

口お申し込みは、次頁の申込書にご記入後ファックスか、メールでお送りください。  
送り先、お問い合わせはこちら。

FAX 076-242-9827 メール [office@ishikawa921.net](mailto:office@ishikawa921.net)



主催 いしかわ921在宅ネットワーク  
後援 石川県医師会、金沢市医師会



# いしかわ921研究会

第1回H25年11月11日  
事例は脳卒中パスを使った連携  
急性期、回復期、生活期で  
10人の演者が登場

第2回H26年2月10日  
病院の退院支援委員会と共催  
「地域と行う退院支援」  
病院の看護師、SW、  
在宅の医師、看護師、ケアマネジャー



## 🏠 第4回いしかわ921研究会 🏠

いしかわ921在宅ネットワークでは、多職種連携がうまくいった事例や、地域の新しい取り組みなどを、昨年度から「いしかわ921研究会」で発信しております。  
今回のテーマは「認知症であっても自分らしく暮らすために」です。認知症対策の切り札として登場した「小規模多機能居宅介護」。仕組みはわかるけれど、どんなケアがされているか意外とご存じありません。事例報告では、小規模多機能居宅介護だからこそ実現できるケアによって、在宅生活が実現できた事例を、ご紹介します。

日時 平成26年7月14日(月) 19:00~20:30  
会場 金沢赤十字病院5階講義室

テーマ 認知症であっても自分らしく暮らすために

プログラム 司会 ぼーれぼーれ四十万 千徳国治氏

1. 地域包括支援センターでの認知症の取り組み  
金沢市地域包括支援センターながさか 木下ひろみ氏  
野々市市地域包括支援センター 古谷亜希子氏
2. 事例報告  
小規模多機能居宅介護 のだの里 山崎茂氏  
その1) 小規模多機能居宅介護とは？  
その2) 事例①「365日、皆勤賞です」  
その3) 事例②「最初は悪徳業者と勘違いされて・・・」
3. ミニレクチャー  
岡部病院 前田義樹先生  
「認知症、精神科受診が必要な時、ケアで対応する時」

□お申し込みは、次頁の申込書にご記入後ファックスか、メールでお送りください。  
送り先、お問い合わせはこちら。



FAX 076-242-9827 メール [office@shikawa921.net](mailto:office@shikawa921.net)

主催 いしかわ921在宅ネットワーク  
後援 石川県医師会・金沢市医師会(予定)

# 在宅療養以降(退院支援)研究会

## 4 事業の内容

### (1) 研究会等の構成メンバー

氏名	所属	職種	経年数	所属学会名
丸岡直子	石川県立看護大学	看護師	38年	日本看護科学学会他
西村元一	金沢赤十字病院	医師	31年	日本外科学会、日本消化器外科学会
林一美	石川県立看護大学	看護師	34年	日本家族看護学会他
石川倫子	石川県立看護大学	看護師	27年	日本看護科学学会他
浅見美千江	石川県立看護大学	看護師	38年	日本在宅ケア学会
倉下陽子	石川県立中央病院	看護師	23年	心臓リハビリテーション学会
下嶋恵美子	金沢医療センター	看護師	34年	日本看護管理学会
徳田夕希子	石川県立中央病院	社会福祉士	16年	日本医療福祉学会
他看護師4名				

※ 行が足りない場合は行を追加するか、「ほか医師〇名、看護師〇名」などをご記入ください。

(2) 事業実施期間 平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日

### (3) 事業の内容 (できるだけ具体的にご記入ください)

項目(事業内容)	内容	対象者	講師等
1. 研究会の開催(年4回)	1) 研究会事業の企画・運営・評価 2) 成果報告作成等	研究会メンバー	
2. 退院支援事例検討会(年8回開催:石川県立看護大学他に実施)	退院支援事例の検討 病院における在宅移行支援や地域で在宅医療に関わる医師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー等から情報提供される事例をもとに、患者・家族への支援のポイント、効果的な多職種連携のあり方、退院支援の評価について実践事例から導き出し概念化する。	看護師、訪問看護師、医師、MSW、ケアマネジャー等	医療施設や在宅医療・介護従事者

## 4) 日程・会場(予定)

- 1回目: 7月 4日(金) 18:30~20:00 石川県立中央病院
- 2回目: 8月 22日(金) 18:30~20:00 西ノ川総合病院
- 3回目: 9月 27日(土) 14:00~15:30 石川県立看護大学(事例提示:公立羽咋病院)
- 4回目: 10月 10日(金) 18:30~20:00 金沢医療センター
- 5回目: 11月 14日(金) 18:30~20:00 金沢赤十字病院
- 6回目: 12月 13日(土) 14:00~15:30 石川県立看護大学(事例提示:金沢医療センター)
- 7回目: 3月 28日(土) 10:00~16:00 石川県立看護大学(事例提示:石川県立中央病院)

いずれも定員 80名

各施設が利用可能かを確認し、なるべく早く丸岡先生までに連絡する。  
その後、日程・場所以を確定する。





# 第5回 退院支援事例検討会



# 専門職間の顔の見える関係の構築

## 金沢南在宅栄養研修会 (いしかわ921薬・薬連携研究会)

謹啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。  
この度、在宅栄養管理における研修会を開催する運びとなりました。  
診療報酬改定に伴い、近年増加している在宅TPNをはじめとした栄養療法、  
注射薬使用の留意点等の情報提供を予定しております。  
ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきたくご案内申し上げます。

謹白

日時：平成26年5月21日(水) 19:00～20:30

会場：金沢赤十字病院 5階 講義室

〒921-8162 金沢市 三馬 2-251 Tel:076-242-8131

◆ 講義 19:15～20:30

### 【 薬剤師と栄養 】

～明日から実践したくなる輸液栄養～

講師 金沢市立病院 薬剤室 東 敬一朗 先生

主催 金沢赤十字病院



中部各府

## 薬薬連携研修会開催のご案内

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度下記のように「薬薬連携研修会」を開催する事となりました。

経口抗がん剤をテーマに、連携のあり方について成功事例を交えながら、意見交換いただく場として位置付けております。

ご多忙の折とは存じますが、ご出席賜ります様お願い申し上げます。

謹白

記

日 時：2014年6月30日(月) 19:00～21:00

場 所：金沢赤十字病院 5階 講義室  
石川県金沢市三馬2-251 Tel:076-242-8131

【司会】 金沢赤十字病院 副院長 西村 元一 先生

19:05～19:35

【講演1】 『 消化器がん術後補助化学療法と副作用マネジメント  
-当院での取り組みと問題点- 』

演者 金沢赤十字病院 薬剤部 熊谷 要 先生

19:35～20:05

【講演2】 『 薬薬連携の実際 -抗がん剤を例に- 』

演者 独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院 薬剤科  
主任薬剤師 水野 宏昭 先生

若葉らいふ薬局 角 佳亮 先生

20:05～21:00

【ディスカッション】

【患者情報を共有できる Best な方法を考えてみませんか？】

※本会終了後に、軽食をご用意しております。  
主催：中外製薬株式会社





# 専門職間の顔の見える関係の構築



主催 金沢赤十字病院





# 全員の顔が見える関係作り



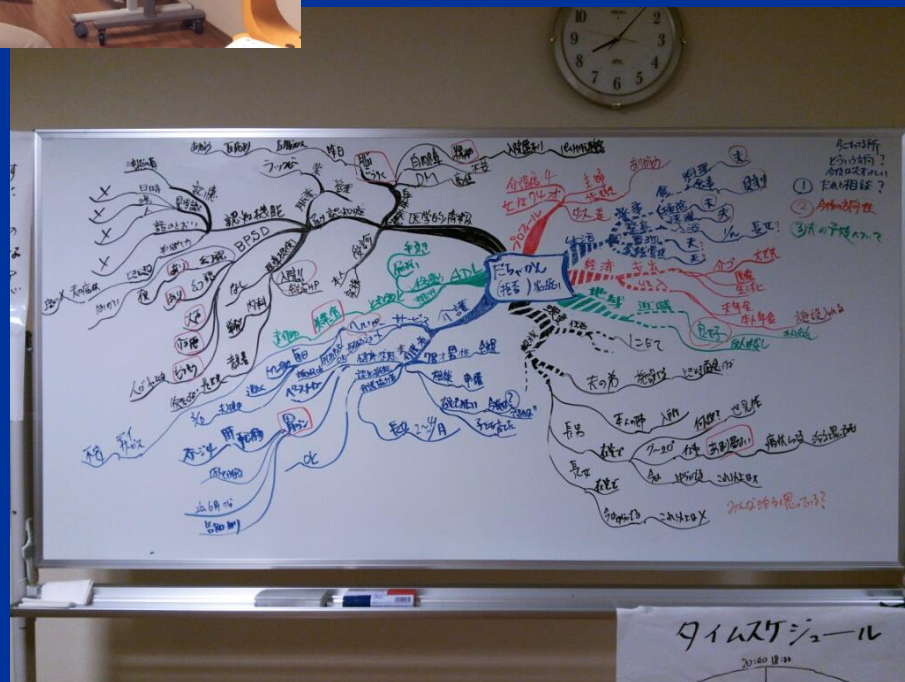
# 今年度の予定

## (いしかわ921在宅ネットワーク)

- いしかわ921研究会・・・5回
- 石川県認知症研修の事例検討会 2回
- 市民公開講座（金子稚子氏）
- ワークショップ（市民との協働）
- 全体交流会

何か新しいことを行っていきたい！

# 見える事例検討会



タイムスケジュール  
2020年

# 平成26年度における認知症研修の体系図

◎地域リーダー(精神科医、認知症サポート医等)の養成

(平成25年度)  
地域リーダーを対象に多職種参加による「**かかりつけ医等認知症対応力向上研修会**」を開催

リーダー  
に対する  
研修

県・高松病院



精神科病院等

(平成26年度)  
地域の多職種を対象にした「**かかりつけ医等認知症対応力向上研修会**」

◎かかりつけ医の認知症対応力の向上  
◎ネットワークの構築



座学

座学 (県・県医師会・精神科病院協会)

郡市医師会

在宅医療連携グループ

地域の事例検討会

事例検討会 (各地域)

市町・地域包括支援センター





## 🏠 第5回いしかわ921研究会 🏠

いしかわ921在宅ネットワークでは、多職種連携がうまくいった事例や、地域の新しい取り組みなどを、「いしかわ921研究会」で発信しております。

今回のテーマは「地域コミュニティと共に考える在宅医療」としました。地域包括ケアシステムの構築は、『地域づくり』につながります。地域包括ケアシステムの要素である在宅医療は、地域の中で他のシステムやサブシステムとどのように繋がり、どのように協働していけば良いのでしょうか。

コミュニティデザインをご専門とする西上ありさ氏をお迎えして、『地域づくり』を考えます。

日時 平成26年9月8日(月) 19:00~21:00

会場 金沢赤十字病院5階講義室

テーマ 地域コミュニティと共に考える在宅医療

### プログラム

#### 1. 講演「地域の課題を地域住民とともに解決するコミュニティデザイン」

講師 studio-L (スタジオエル) 西上ありさ氏

講師からのメッセージ

「人々が気づいていないニーズを引き出し、飛躍的な発想で生活を豊かにする思考方法が、『デザイン思考』です。住民主体の地域づくりのためには、デザイン思考が必要です。在宅医療を含む地域づくりを、デザイン思考を使って考えてみましょう。」

#### 2. グループワーク

- ・感想と質問
- ・「こんなことができるかも!」「やってみたい!」

#### studio-L 西上ありさ氏 プロフィール

1979年北海道生まれ。2003年大阪芸術大学芸術学部環境計画学科卒業。大学の頃から兵庫県姫路市家島地区のまちづくりに関わり、同地域で「探られる島」プロジェクト、家島ゲストハウスプロジェクト、NPO法人いしまの特産品開発プロジェクトなどを展開。共著書に『震災のためにデザインは何が可能か』(NTT出版刊)、『地域を変えるデザイン』(英治出版)『コミュニティデザインの仕事』(ブックエンド社)がある。詳しくは<http://www.studio-l.org/>

口お申し込みは、次頁の申込書にご記入後ファックスか、メールでお送りください。

口送り先、お問い合わせはこちら。

電話 076-242-9823 (金沢赤十字病院医療相談室) Mail [office@ishikawa921.net](mailto:office@ishikawa921.net)

主催 いしかわ921在宅ネットワーク  
後援 石川県医師会・金沢市医師会(予定)







いしかわ921在宅ネットワーク

## ワークショップシリーズ(全3回)のご案内

コミュニティデザインの手法を使って、地域の課題に取り組むためのワークショップを企画しました。在宅医療にとどまらない、地域の課題を取り上げます。どうぞご参加ください。

### テーマ 地域で暮らし続けるために、私たちは何ができるのか？

会場 金沢赤十字病院 5階講義室 講師 studio-L 西上ありさ氏

#### 【第1回 まちの課題を考える】チーム作り、方法論を学びます

平成 26年 10月 6日(月)19:00~21:00

18:30 から、小堺武士氏(ケアパック石川)のオランダ視察報告を行います。

#### 【第2回 アイデアを考える】持ち寄ったアイデアを深めます

平成 26年 12月 1日(月)19:00~21:00

#### 【第3回 今後のアクションを考える】発表及びアクションプランを作ります

平成 27年 2月 2日(月)19:00~21:00

#### ※参加にあたっての注意とお願い

- ・チームで行うワークショップなので、原則として全3回に出席してください。
  - ・オンライン(メール等)でのやり取りが必要になるため/パソコン等が使える方が望ましい
  - ・「地域で暮らし続けるために、何をするか」の案を、申し込み時に提示してください。
- 例) 何かいい案ありませんか

#### studio-L (スタジオ・エル) 西上ありさ氏 プロフィール

1979年北海道生まれ。2005年より山崎亮が主催するコミュニティデザイン集団であるstudio-Lに参画。2009年から2011年にかけて海士町教育委員会のまちづくりコーディネーターとして集落診断・集落支援に携わる。主な仕事に、住民参加による総合計画の策定、地域の特産品開発・ブランディング、集落診断・集落支援などがある。<http://www.studio-l.org/>

□お申し込みは、次頁の申込書にご記入後ファックスか、メールでお送りください。

□送り先、お問い合わせはこちら。

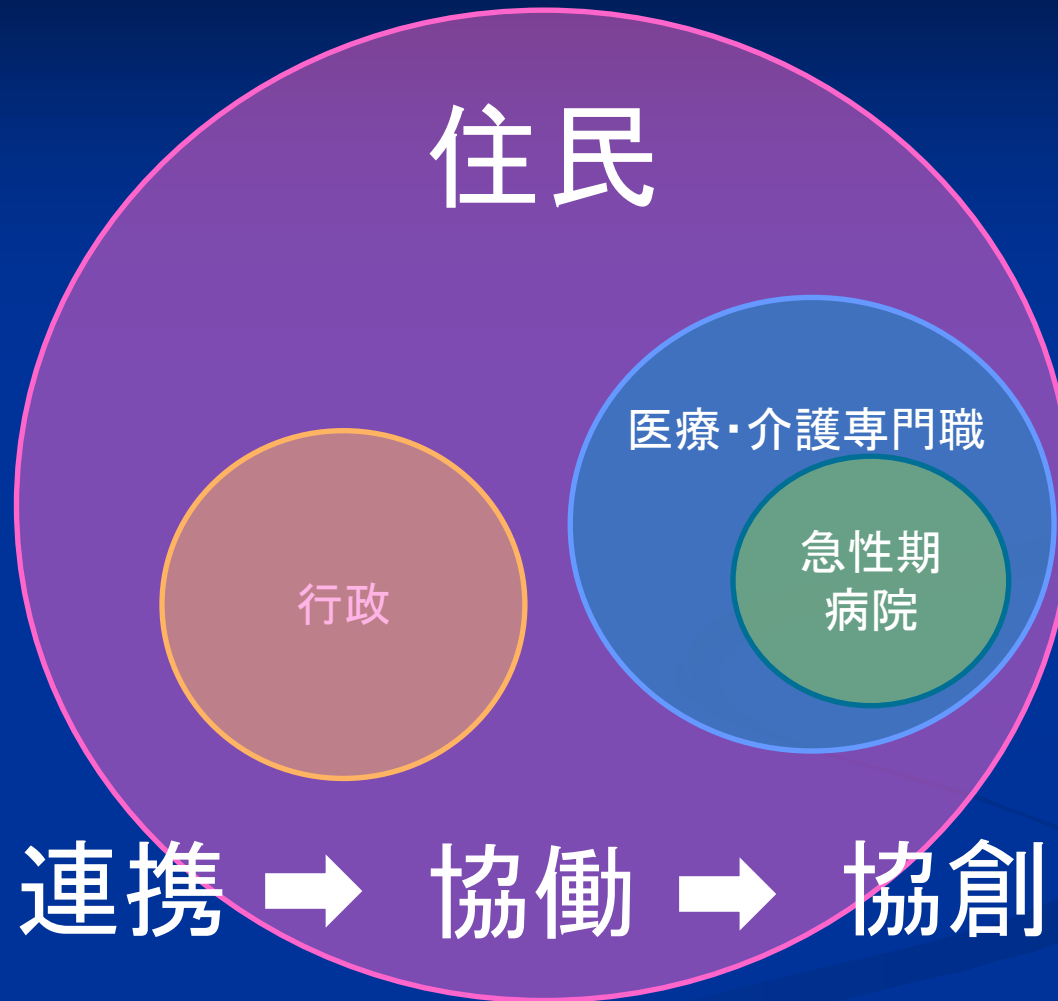
電話 076-242-9823 (金沢赤十字病院医療相談室) Mail [office@ishikawa921.net](mailto:office@ishikawa921.net)



楽しさなくして参加なし

参加なくして未来なし

# 自分たちも住民である



ひとりひとり(それぞれの施設が)何をすべきか考えることが重要